

林業福島

No. 606



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

2

2015

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■木に親しむ



ふるさとの復興に向けて

福島県市長会長
相馬市長 立谷秀清

『林業福島』をご覧の皆さまにおかれましては、県内それぞれの自治体の行政運営にご理解とご協力を賜っておりますことに、県市長会を代表して御礼を申し上げます。

さて、「瑞穂の国」と称される我が国は、国土の約七割を森林が占めております。国土保全、水源かん養、地球温暖化防止等、森林の持つ多くの公益的機能については、多くの国民が理解し、森林がもたらす多くの恵みを楽しんでいます。

また、私たちのふるさと福島県も県土の約七割を森林が占め、四季折々の美しい景観や山、川、海からの豊かな恵みの源となっています。私たち福島県民一人ひとりの心の原風景には、県内各地の美しい森林が存在するものと思います。多くの御努力を重ねながら、美しい森林を維持されている皆様から敬意を表します。

さて、我が国の林業は、戦後造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えております。しかしながら、施業集約化や路網整備・機械化の立ち後れによる採算性の低下、脆弱な木材供給体制による生産活動の停滞など厳しい経営状況におかれています。

私たちの大切な財産である豊かで美しい森林を適正に維持し、後世の世代にしっかりと引き継ぐためには、適切な維持管理は必要不可欠であり、それには、林業が産業として継続することが最も重要な課題です。国においては、林業の成長産業化のため、二〇二〇年までに国産材自給率五〇％を達成、二〇一三年度から二〇二〇年度までの間、毎年五二万鈔の間伐を実施する目標を掲げ、新たな木材需要の創出、国産材の安定供給体制の構築等に取り組みとのことであります。

県市長会といたしましては、林業が産業としての基盤を強化されることにより、森林を適切に維持管理し、次世代に継承することが可能となること、人口減少が進展する山村地域に産業と雇用を生み出すことを期待できることから、東北市長会や全国市長会とともに、その実現を働きかけてまいります。また、県と連携し、原発事故により、停滞している森林整備や林業生産活動を復活させることができるよう取り組んでまいります。

震災発生から間もなく五年目を迎えます。市長会では十三名の市長が、皆で知恵を出し合い、連携を深めながら、ふるさとの復興に向け努力を重ねてまいりますので、これからもご理解とご協力をお願いいたします。

《も く じ》

とびら	
ふるさとの復興に向けて	
福島県市長会長	
相馬市長 立谷秀清	1
山火事を防止しましょう	
～伝えよう 森の大事さ 火の怖さ～	2
林業労働力確保支援センターだより	3～4
緑の募金コーナー	5
第47回花いっぱいコンクール表彰式	6

第29回ふくしま緑の写真コンクール表彰式	6
森と生きる	7
普及指導員通信	8
福島水源林整備事務所だより	9
木連だより	10
「うつくしま21森林づくり活動発表交流会」	11
木材市況・派遣職員メッセージ	12
はなしのひろば	13

山火事を防止しましょう

伝えよう 森の大事さ 火の怖さ 福島県森林保全課

○山火事の発生状況

冬から春にかけては空気が乾燥し、季節風も強いいため火災が発生しやすい気象条件となっています。また、春先は暖かくなって山に入る人が増えるほか、農作業等で火入れを行うなど山に近い場所等で火を使う機会が増えます。このため、例年二月から五月にかけて山火事が多く発生します。

平成二五年は県内で三五件（前年二三年）の山火事が発生しましたが、九割以上がこの時期に集中しています。

○山火事の原因

平成二五年の山火事の原因は、「たき火」によるものが最も多く、次いで「たばこ」となっており、人為的な原因によるものが六割以上を占めています。

○山火事による損失

山火事による損失は、森林を所有する方の財産が失われるだけでなく、私達の生活環境を維持するうえで大切な水源かん養機能など、森林のもつ様々な機能も失うこととなります。

燃えてしまった森林をもとの姿に戻すためには、多額の費用と多くの人手、そして長い年月を要します。このため、普段からの予防対策により山火事を出さないことが重要となります。

○山火事の消火方法

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であるため、自力での消火は大変危険です。

山火事が発生した場合や、山火事を発見したときは、すぐに消防署等へ通報するようにお願いします。

なお、原発事故に伴う避難指示区域において大規模な林野火災等が発生した場合、管轄消防本部からの支援要請により、福島市消防本部（代表消防本部）で支援調整・

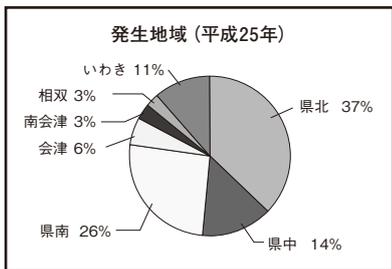
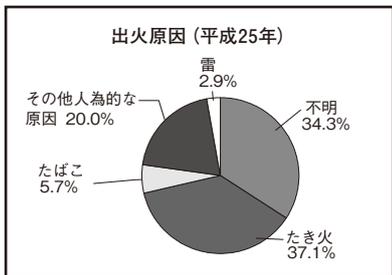
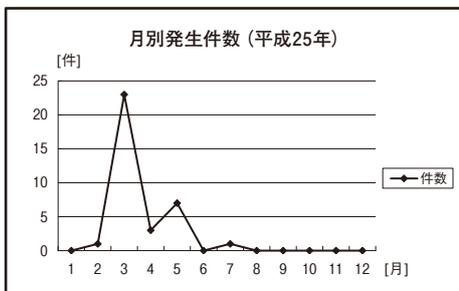
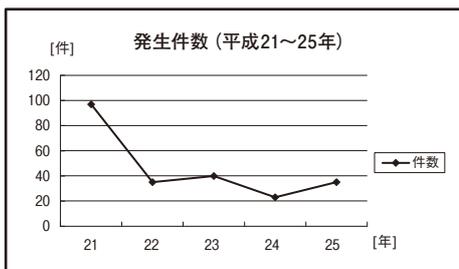
広域応援隊の編成を行い、広域応援隊が派遣されることになっています。

○福島県での山火事予防運動

福島県では市町村、森林管理署、消防本部等の関係

機関と連携して、「山火事予防運動」を実施しています。広報誌やラジオ、各農林事務所での山火事予防の働きかけなどを通じて県民の皆さんに山火事予防についてお知らせしています。

林野火災関係図表



大きな被害を引き起こす山火事を予防するため、特に春先の乾燥した季節には、森林のなかで火を使わないよう

○おわりに

とが何より重要です。

山火事の大部分は、私達一人ひとりの注意で防ぐことができます。福島県の緑豊かな森林を山火事から守るため、皆さんのご協力をお願いします。

また、放射性物質に汚染された本県の森林で火事が発生すると、落葉や樹木に付いているセシウムが再び拡散してしまう恐れがあります。予防するところが何より重要です。

- 1 火入れを行う場合は、必ず許可を受けろ。
- 2 タバコは指定された場所で喫煙し、吸いながらは必ず消火する。
- 3 枯れ草などの燃えやすいものがある場所では、たき火をしない。
- 4 たき火をする時には水を用意しておき、火から離れる際には完全に消火する。
- 5 乾燥時や強風時には、たき火や火入れをしない。
- 6 火遊びは絶対にしない。させない。

をお願いします。また、やむを得ず森林のそばで火を使う場合には、次のことに注意してください。

林業労働力確保支援センターだより

明日の 林業の担い手の 確保・育成に向けて



森林作業道作設研修の実施状況

◎はじめに

林業は、木材等の生産活動を通じて、森林の有する多面的機能の発揮や山村地域の雇用の確保に寄与しています。

しかしながら、他産業に比べ、雇用の不安定さ、労働条件や福利厚生等の取り組みの遅れ、労働災害の発生率の高さ、などの厳しい状況に置かれ、林業労働者の減少と高齢化が進んでいます。

このような中、福島県林業労働力確保支援センター（以下、「支援センター」）では、林業の持続的かつ健全な発展のため、事業者の雇用管理の改善、林業の担い手の確保・育成等のため、各種事業を行っています。

ここでは、本年度に行った研修等の概要について紹介します。

◎「緑の雇用」現場技能者育成対策事業

認定事業者の新規就業者を対象として三年間を通して体系的に技能の習得が得られるよう全国統一のカリキュラムで集合研修と実地研修（OJT）を実施しています。

① 集合研修

新規就業者等七九名に対し、林業の基本的知識・技術技能等を習得する座学・実習を



ワイヤーロープの扱い方の受講状況

六月から一月にかけて実施しました。なお、研修では、多くの事業者等から現場会場提供等のご協力をいただきました。

② 実践研修

集合研修を踏まえ、各事業者の実際の現場において、知識・技術技能等を習得するための実践研修を三八事業者で実施しています。

◎ 林業就業者キャリア形成支援事業

林業就業者の定着を促進するため、キャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会を開催しました。

① 森林づくり研修会

十一月七日、林業家の三浦妃己郎（きみお）氏に『映画WOODJOB！』に関わった私の林業経営』と題して講演をいただきました。



講師の説明展示（右から2人目）

参加者は二九名で、映画撮影に至る経緯では、多くの候補地から選ばれた理由が、棚田などの自然景観や人とのつながりであったこと、自身が経営する「三浦林商」では、間伐主体ですが雇用の安定のため製材加工販売なども手がけていること、二〇一二年に立ち上げた「NPO法人もりずむ」での、葉がらし乾燥・新月伐採・トレーサビリティの取り組み等、多岐に亘りお話をいただきました。

将来展望は、林業の多様化で、「半

林半商」が理想とのことでした。

映画で使われた丸太のコンロや同じ機種のチェーンソー、ヘルメット、シナリオなども持参され、受講生は興味深く説明を受けていました。

② 林業人材育成研修会

十二月三日、やおよろずの森代表、女優で林政審議委員の葛城奈海氏による『体幹を使う事故防止技術と最近の林業情勢・特色ある地域の取組について』等のテーマで十八名の参加により実施しました。

講演では、「先人達に学ぶ」として、神宮の杜・トトロの森での米作り・江戸に学ぶなどのお話を、「森林・林業取材を通じて感じたこと」では、新風を吹き込んだ緑の研修生・勢いのある事業者の特徴・受け継いできた文化（宝）の意識化・技術だけでなく自然観の継承についてのお話を、「課題」では、後継者の育成、継続して新たな研修に取り組む福島県、鳥獣害対策、公共建築物木造化などのお話をいただきました。



体幹を使う事故防止技術の受講状況

林政審議委員でもある講師は、林業白書にも携わり、伊勢神宮の式年遷宮の掲載にかかわるエピソードなど、機知に富んだお話を伺いました。

後半は、実際に体を使った事故防止のための体幹の使い方について実技指導をいただきました。

◎林業労働者等研修事業

林業事業者等の現場責任者等への持続的な林業経営に必要な知識と技術を付与する研修として以下の研修を行いました。

①高性能林業機械実践研修

高性能林業機械による効率的な素材生産システムの習得のための研究会をいわき市三



スイングヤーダーでの研修状況

和町で八月二六日から二八日の三日間で開催しました。参加者は二八名(延べ七九人)でした。

一日目は機械の構造と保守点検を中心に室内研修を、二日目以降は現場での機械(プロセッサ、スイングヤーダー、フォワーダ)による造材及び集材作業を研修しました。

また、機械メーカーによるメンテナンスの研修も併せて行いました。

②森林再生研修会

放射性物質に汚染された森林の再生に必要な知識等を得るための研修として、五七名の参加を得て、白河市の県行造林地等で十月九日に開催しました。



室内研修状況

森林総合研究所、赤間亮夫氏からは、「森林における放射性物質動態に関する最新の知見」と題し、セシウム分布の経年変化や森林からの流出等のお話しをいただきました。

林野庁の山口孝氏からは、「森林における放射性物質の影響提言及び拡散防止技術の取組について」と題し、木材の種類別部位別のセシウムの経年変化、流出拡散には土砂の移動を抑えることが重要、林床被覆による遮蔽では一定の効果がみられたこと等のお話しをいただきました。

福島県森林整備課の宗方主任主査からは、『ふくしま森林再生事業の取組について』と題し、震災後の森林整備面積は平成二五年度実績で平成二二年度の五四割減と森林整備の停滞が続いているため、森林整備と



現地研修状況

放射性物質対策を一体的に実施するふくしま森林再生事業の必要性と実施状況についてお話しをいただきました。現地研修は、

ふくしま森林再生事業の実施状況について県の担当者から説明を受け、作業道や簡易丸太柵の配置作設状況、スギ・ヒノキの間伐の実施状況、間伐材の搬出状況、植栽作業の方法を研修しました。

③森林作業道作設研修会

効率的な素材生産の基盤である丈夫で簡易な森林作業道の作設のための研修会を開催しました。

十一月十八日から二二日の四日間、石川郡石川町を会場に、経験者のフォローアップ研修として、四名の方が受講しました。

座学のほか、現地では現場発生材を使った丸太組工や丸太排水工の施工を実習しました。



作業道作設研修 丸太排水工



作業道作設研修 丸太組工

◎林業雇用改善促進事業

①雇用管理研修会

十一月十七日、福島県建設センターで三四名の参加により「雇用の定着」をテーマに三名の講師に講義をいただきました。

はじめに福島労働局職業対策課長

狩野幸氏に「最近の雇用情勢・福島労働局の取組について」と題して、本県の特異な求人求職状況や今年度の高卒者の就職内定率は五八・三割で前年比一三割上昇していることなどのお話しをいただきました。

次に社会保険労務士法人TMC代表社員の岡部正治氏の『林業就業者の定着のために「事業主」がなすべきこと』と題して、一人親方の特別労災の加入促進、定着のための「緑の雇用」の有効性、人材確保には先手を打つこと、経営者がきちんと目標を持つてそれを従業員に伝えることが大事な



雇用管理研修会受講状況

最後に、(株)TMC経営支援センターキャリアコンサルタント

三村貴夫氏による『林業就業者のためのコミュニケーションアップ研修』と題して、主に社員を四つのタイプ(コントローラー・プロモーター・アナライザー・サポーター)に分け、そのタイプに応じたコミュニケーションの取り方が重要とお話しをいただきました。

◎おわりに

支援センターでは今後も、様々な事業・研修会を展開していきますので、よろしくお願ひします。

平成27年度の緑の募金目標額 **7,000万円**

緑の募金のご協力よろしくお願いたします

緑の募金のお願い (公社)福島県森林・林業・緑化協会

平成26年度は、下表のように約6,048万円（4月～12月分集計）のご寄附をいただきました。多くの県民の皆さまに厚く御礼申し上げます。

平成27年度は、昨年8月に本県開催が内定した平成30年の全国植樹祭に向けて、実行委員会の設立など本格的な準備が進められることから、森づくり県民運動のさらなる拡大を目指し、「緑の募金」運動を展開するとともに、引き続き「震災からの復興」と「緑豊かな潤いのある美しいふくしまづくり」を推進していきます。

「緑の募金」の春季募金期間は、全国緑化キャンペーンと同様1月15日からスタートし、本県におきましては、新年度がはじまる4月1日から5月31日が「緑の募金」の春季募金期間となっておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



平成27年の緑化運動標語

**「今植えた 小さなその芽が
大きな未来」**

〒960-8043

福島市中町5-18 福島県林業会館内

(公社)福島県森林・林業・緑化協会
(緑化推進局)

TEL 024-524-1480 FAX 024-521-3246

平成26年度 緑の募金実績 (平成26年4月～12月)

単位：円

市・地方緑化推進委員会	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	募金の種類				
				街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金
福島市緑化推進委員会	9,300,000	4,113,152	44.2	72,808	0	1,811,109	789,315	1,439,920
伊達市緑化推進委員会	2,300,000	2,563,222	111.4	31,905	1,980,752	212,653	270,534	67,378
伊達郡緑化推進委員会	1,400,000	1,552,978	110.9	55,248	1,086,510	222,000	166,649	22,571
二本松市緑化推進委員会	2,100,000	131,740	6.3	214	0	0	131,526	0
本宮地域緑化推進委員会	1,300,000	1,685,147	129.6	851	986,200	498,173	123,935	75,988
国土緑化郡山市推進委員会	11,100,000	10,339,573	93.1	1,140	6,539,400	1,080,353	830,137	1,888,543
須賀川市緑化推進委員会	2,600,000	1,349,771	51.9	32,927	364	703,360	335,250	277,870
国土緑化岩瀬地方推進委員会	600,000	654,762	109.1	2,945	488,000	3,510	88,071	72,236
田村地方緑化推進委員会	2,600,000	3,444,555	132.5	45,797	2,377,650	389,716	583,647	47,745
国土緑化石川地方推進委員会	1,800,000	1,936,353	107.6	354	1,079,500	272,540	227,132	356,827
白河市緑化推進委員会	2,200,000	2,104,743	95.7	7,640	1,255,100	493,048	240,655	108,300
国土緑化西白河地方推進委員会	1,600,000	1,983,419	124.0	4,236	1,335,100	403,228	209,086	31,769
国土緑化東白川地方推進委員会	1,500,000	1,424,275	95.0	45,914	938,860	164,654	227,109	47,738
国土緑化会津若松市推進委員会	4,500,000	5,658,318	125.7	120,294	3,667,220	549,000	755,352	566,452
両沼地方緑化推進委員会	2,000,000	1,849,197	92.5	783	1,555,293	117,000	176,121	0
会津耶麻地方緑化推進委員会	1,200,000	1,376,146	114.7	510	1,031,700	80,000	121,959	141,977
喜多方市緑化推進委員会	2,000,000	2,473,481	123.7	47,826	1,633,000	312,000	480,655	0
南会津地方緑化推進委員会	1,400,000	1,735,798	124.0	63,939	1,350,200	62,000	233,359	26,300
相馬地方緑化推進委員会	4,400,000	420,113	9.5	0	45,600	0	374,513	0
双葉地方緑化推進委員会	2,600,000	0	0.0	0	0	0	0	0
いわき市緑化推進委員会	11,500,000	12,234,917	106.4	82,029	8,677,807	1,252,087	1,675,216	547,778
小計	70,000,000	59,031,660	84.3	617,360	36,028,256	8,626,431	8,040,221	5,719,392
事務局	-	1,452,888	-	77,709	0	931,034	444,145	0
合計	70,000,000	60,484,548	86.4	695,069	36,028,256	9,557,465	8,484,366	5,719,392

※街頭募金にイベント募金、常設募金等を含む

第47回

花いっぱいコンクール表彰式

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会

第四七回花いっぱいコンクールの表彰式が平成二六年十二月四日、福島市の福島民友新聞社で開催されました。コンクールは福島民友新聞社、農林中央金庫福島支店、県森林・林業・緑化協会の主催で、優れた花壇づくりや緑化活動に励んだ団体に各賞が贈られました。(別表参照)

今回、三二団体の方々が受賞されましたが、受賞された上位の団体の中から全国花のまちづくりコンクールに推薦されます。

受賞者代表のあいさつでは、県知事賞の東山小の舟木厚陽君(五年)が「毎日草むしり、水くれをしてきた」「来年は今年より花壇をきれいに



県知事賞の団体が作成した資料

第47回花いっぱいコンクール入賞団体

	県北	県南	会津	浜通り
福島県知事賞	福島製鋼株式会社(福島市)	たんぼぼ会(郡山市)	会津若松市立東山小学校(会津若松市)	新地町立駒ヶ嶺小学校(新地町)
福島県教育長賞	伊達市立富成小学校(伊達市)	郡山市立桃見台小学校(郡山市)	喜多方市立第一小学校(喜多方市)	南相馬市立福浦小学校・金房小学校・鳩原小学校(南相馬市)
福島県森林・林業・緑化協会会長賞	桑折町伊達崎公民館(桑折町)	玉川村立川辺小学校(玉川村)	喜多方市立山都小学校(喜多方市)	小名浜西五区連絡協議会(いわき市)
福島民友新聞社長賞	川俣町福田婦人団体連絡会(川俣町)	郡山市立桑野小学校(郡山市)	只見町立只見小学校(只見町)	いわき市平第十八区内会(いわき市)
農林中央金庫福島支店長賞	川俣町飯坂小学校(川俣町)	JA東西しらかわ青年会の会館川支部(鮫川村)	青柳地区花いっぱい運動(南会津町)	福島県立磐城農業高等学校(いわき市)
奨励賞	新田レディースサークル(福島市)	学校法人成田学園 希望ヶ丘幼稚園(郡山市)	会津美里町立本郷小学校(会津美里町)	田人町花いっぱい運動推進委員会(いわき市)
	桑折町ボランティアセンター(桑折町)	郡山市立安積第二小学校(郡山市)	畜産とコンタクト株式会社 畜産とコンタクトテクノロジ株式会社(会津若松市)	いわき市立小名浜第一小学校 PTAガーデニングサポーター(いわき市)
		社会福祉法人共生福祉会 ケアハウス光の森の家(郡山市)	喜多方市立会北中学校(喜多方市)	いわき市南台応急仮設住宅自治会(いわき市)

したい」と力強い言葉を述べました。今後も、花壇づくりを通じて県民の輪が広がるよう、受賞者代表あいさつの言葉同様「来年度は今年度以上に」緑化活動を広めてまいります。

第29回

ふくしま緑の写真コンクール表彰式

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会

第二九回ふくしま緑の写真コンクールの表彰式が平成二六年十二月十三日、福島市の福島民報社・民報ビルで開催されました。コンクールは福島民報社、県森林・林業・緑化協会の主催で、福島県の緑豊かな風景を知っていただくよう毎年実施しています。

今回は、一八一人から五六一点の応募があり、特選の笠原壽一さんをはじめ、金賞、銀賞、銅賞、入選、佳作の五二人が各賞に選ばれ、表彰式では、特選、金賞、銀賞、銅賞の十五人の方々が出席されました。

受賞者を代表して、笠原さんが「楽しい写真を撮るため、粘って撮影した作品が目標のコンクールで特選に選ばれて嬉しい」「来年三〇回の節



特選を受賞した笠原さんの作品「癒しの流れ」

目となるコンクールにもチャレンジしたい」とあいさつしました。受賞者は次のとおりです。

特選 1点 賞状 楯 賞金

笠原 壽一(福島市)癒しの流れ

金賞 5点 賞状 楯 賞金

吉井 勝美(福島市)新緑の中へ
柳沼 利行(郡山市)東福寺に向って
黒澤 泰弘(いわき市)咆哮
佐藤 光政(二本松市)緑色に染まる
星 洋一(南会津町)尾瀬で出会った天使

銀賞 6点 賞状 楯 賞金

丹治美知夫(福島市)ホテル乱舞
猪狩 素巳(福島市)ささえあう
齋藤 誠(郡山市)シャワー越しの新緑
深谷 与一(郡山市)紫陽花の季節
齋藤 晃(郡山市)上手にとれたかな!

銅賞 6点 賞状 楯 賞金

鈴木 征一(白河市)見守る大樹
鈴木 正秋(郡山市)スポットライト
高木志津夫(いわき市)出番前
石森 文夫(いわき市)生命の樹
尾引 清一(須賀川市)誕生
安齋 保里(二本松市)世代交替
穀野 只信(本宮市)夏の高原

(受賞者は福島民報十一月十三日付に掲載、また当協会HPにも掲載)

マイマイガの大発生について

■会津農林事務所

林業普及指導員 平塚 真基

マイマイガが会津地方で大発生したことは、新聞やニュースでも取り上げられていたので皆さんもご存じのことと思います。街灯に群がる大群や壁に張り付く姿等が報道されましたが、幼虫の段階でも猛威を振るっていました。

マイマイガといえば全国どこにでもいる森林病虫害であり珍しいものではないというのが私個人の認識でした。そのため、平成26年6月に発生の一報を受けたときは正直なところそれほど驚きはありませんでした。

しかし、その日以降、イネの食害を含む多くの発生報告が寄せられたため、林業研究センター、南会津農林事務所、金山普及所、昭和村役場と合同で現地調査を行いました。そして、その発生数の多さに正直言葉を失いました。

1本の木に大量のマイマイガの幼虫が群がっている状態。丸裸になってしまった樹木。なにより一番驚いたのは、スギの葉まで食べていることでした。

マイマイガ被害で1番困ることは、孵化直後以外は農薬に対する耐性が強いことです。調査時に水田に進入したマイマイガの幼虫を人力で駆除する方もおり、「農薬を散布しても効果が無かったので仕方なく。」と言っていました。

掲載した写真は、普及指導員が緑の教室を実施した際に、市町村職員等にマイマイガの被害状況を説明している時の写真です。参加者はあまりの数の多さにびっくりしていました。

食害以外にも羽化した蛾が街中の明かりを目指し大量に飛来し、集まった蛾はそのまま街中の至る所に卵塊を産み付けて問題になりました。もちろん喜多方合同庁舎も例外なく大量の卵塊を産み付けられました。（現在はきれいに落としてあります。）

マイマイガへの対策としては、幼虫の段階での対応は厳しいので成虫をマイマイガホイホイで捕殺することと、産み付けられた卵塊を除去して、来年度の大発生を防ぐことです。

会津農林事務所管内ではほとんどの市町村で被害が確認されました。中でも喜多方市熱塩加納町、柳津町、昭和村では大規模な被害が確認されています。幸い食害を受けた木が枯れることはありませんでした。

マイマイガの大発生は文献によると2～3年続くようなので、来年度も同じ状態になることが懸念されますが、被害が少しでも減るよう対策方法の周知を行うなど努力していきたいと思っています。



被害状況説明の様子

福島水源林整備事務所だより

スギ林の皮剥被害について

(独) 森林総合研究所森林農地整備センター
福島水源林整備事務所



①おじゃんこした



②なめ始め



③なめてる



④なめ終わり（皮が剥かれている）



⑤ガオ——

林業福島五五五号においてクマによる皮剥対策を、五八八号において同被害に対する種の特定としてトレイルカメラを設置したことを掲載してまいりました。しかし、なかなか決定的な瞬間を押さえることができませんでした。昨年秋によく押さえ

ることができました。一昨年からの皮剥対策を実施した箇所のカメラについては、動物があまり写らなくなり、写ったとしてもただ通り過ぎるだけとなりました。これは、何かしらの対策を施した結果なのか、月に一度のカメラの電池、データの回収のために人間の

往來によって動物が寄りつかなくなったのかは解りません。どちらにしてもこの付近には動物が寄りつかなくなり、皮を剥ぐ種の特定はできませんでした。そのため今回の撮影環境として、周辺の林地が皮剥対策を行っているため、無対策地で新たな被害木探しから始まり、発見したらその木にターゲットを絞り設置しました。

設置後に何者かのいたずらなのか、カメラが下を向いていたことがあり、データを確認したら、クマ顔のドアップが写っており驚きましたが、一月にデータを回収したところ、同一と思われるクマが、のそのそやってきてから、おじゃんこして（座って）スギの樹液をなめていました。その際に皮を剥いでいるように見えましたが、またカメラ設置木にも樹液が出ており、これをなめにきいていたのではないかと思われます。しかし、私が北海道時代に「クマがトウモロコシを食べる時はおじゃんこして食べるんだ！」と言われたことがありそんなことないだろうと思っていました。今回おじゃんこしている姿を見て本当におじゃんこするんだ！しかもカワイイと感じました。

木連だより

**海岸防災林復旧工事
への県産バーク堆肥
の施用について**

1 目的

現在進められている海岸防災林復旧工事におけるクロマツ植栽工事において、県内産バークを使用したバーク堆肥の施用を積極的に進めるため、県産バーク堆肥を使用したポットにクロマツ苗を植栽し、その放射能の影響と苗木の生育状況を観察しました。

2 試験内容

- (1) 植栽月日及び場所
平成二五年十月四〜五日
- ① 植栽日
- ② 植栽場所
双葉郡広野町下北迫西町
(空間線量 〇・四μSv/h)
- ③ 試料採取日
平成二六年十月十七日
(空間線量 〇・一四μSv/h)
- (2) 供試バーク堆肥の種類及び分析成績

表-1 バーク堆肥の分析結果

	肥料の名称	放射能濃度	混合割合等	
		Bq/kg		
A	スリーダイヤ	174	県内樹皮	30%
B	グリーンセブン	346	県内樹皮	30%
C	ダイヤバーク	39	県内樹皮	30%
D	ミネラル樹皮	不検出	県外樹皮	広島県
E	バークイーン	不検出	県外樹皮	岩手県
S	無バーク(赤玉土)	不検出	県外産	



バーク堆肥と各種資材の混合



ポリポットへの植え付け

今回の試験に使用したバーク堆肥は、表-1に示す県内樹皮約三〇割を混合した三種類と、広島県・岩手県の県外二種類の計五種類です。

(3) 試験区の設定
七号ポリポットに、バーク堆肥重量比で約二〇割と化成肥料を配



福島県木材協同組合連合会

3 試験結果

(1) 生育状況

合した土壌にクロマツを植付け、各試験区五本ずつ無バーク堆肥区(赤玉土のみ)を含め六区×五本の計三〇本を温室内で育成しました。

表-2は、苗木樹高、根本径の測定結果を示したものです。クロマツ苗約一年間の生育は県内産樹皮を配合したバーク堆肥でも県外産樹皮を配合したバーク堆肥でも概ね同様でした。

表-2 ポリポットに植栽した苗木の測定結果※(単位:mm)

試験区	ポット数	植え付け時		H26.10.17	
		樹高	根本径	樹高	根本径
A	5	556	7.98	838	13.76
B	5	540	7.32	816	12.52
C	5	592	8.54	844	12.34
D	5	586	9.28	890	12.90
E	5	540	7.62	860	11.74
S	5	646	9.08	938	13.54

表-3 放射能濃度分析結果※(単位:Bq/kg)

試験区	葉		枝		土	
	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137
A	ND	ND	ND	ND	ND	25
B	ND	ND	ND	ND	21	51
C	ND	ND	ND	ND	ND	16
D	ND	ND	ND	ND	ND	ND
E	ND	ND	ND	ND	8	ND
S	ND	ND	ND	ND	ND	ND

4 考察

今回の試験では、県産の資材を混合して製造したバーク堆肥は堆肥の性能として他県産同様に問題がなく、放射性物質の葉及び枝への移行も確認されませんでした。

この実証試験結果を根拠の一つとして、現在進められている海岸防災林復旧工事におけるクロマツの植栽工事において、県産バークを使用した堆肥の施用を積極的に進めることにより、滞留している多くの汚染バークを処理することができるとともに、県の林業等の振興に役立てることにあります。



現地見学 初日

『うつくしま21 森林づくり活動発表交流会』 公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

うつくしま21森林づくりネットワーク（渡邊一夫会長）では、平成二六年十一月十五日（土）、十六日（日）の両日、須賀川市の「日本しゃくなげ・つつじ苑」にある集会場と近隣の里山である「響きの森」を会場にして、「平成二六年度森林づ

くり活動発表交流会」を開催しました。この発表交流会は、毎年一回、県内の森林ボランティア活動の拠点を会場に、地域の森林ボランティア団体を中心となって開催されています。

今回は、「大震災以降のふくしまの森林の現状を確認し、今後の森林再生の取り組みについて語り合おう」と題し、ネットワーク会員を中心に県内の森林ボランティアの皆さん及び県の森林林業関係者等五〇名が参加しました。なお、本会の会場となった集会場は、新築された「うつくしま21森林づくりネットワーク」の渡邊会長宅を使用させていただきました。

初日は、震災以降の山林の状況を見学するため、会場近くの山林（響きの森）へ出向き、放射性物質が降下した山林の除染状況と現在の線量



参加者一同

値等について説明を受けました。また荒廃している森林を今後どのように再生し活かしていくか、その取り組み等について森林所有者でもあるネットワーク会長の渡邊一夫氏から話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後会場へ戻り、県内各地で活動されているネットワーク会員

NPO法人福島県緑の協力隊、NPO法人いわきの森に親しむ会、県南・木もれび倶楽部、NPO法人ふるさと森林の会や(公社)福島県森林・林業・緑化協会、福島県（森林保全課）より活動状況や森林整備等に関する発表が行われました。

夕方からは発表会場を衣替えし、参加者一同による交流会が実施され、夜遅くまで様々な情報交換の場となりました。

二日目は会場となった「日本しゃくなげ・つつじ苑」の見学と園内整備作業を行い、昼前に終了・解散となりました。

うつくしま21森林づくり ネットワークとは？

福島県内で活動する二〇ほどの森林ボランティア団体と関係機関などが集まり、県民参加による森林づくり運動の展開や普及などを目的とした組織。会長は渡邊一夫氏、事務局を公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団が担当しています。

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(11月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	10 (10~10)	0	9 (8~10)	0
		10~13				13 (10~14)	0	8 (8~8)	0	12 (11~13)	1	12 (8~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (13~15)	0	12 (12~12)	0	11 (8~13)	0	12 (8~15)	△1
						6.00	並	ヒノキ	15 (14~16)	1	(0~0)	0	17 (16~18)
		20~28	3.65	並	スギ				18 (16~19)	1	8 (8~8)	0	16 (14~18)
						4.00	並	ヒノキ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	23 (19~28)
	1.80	並	アカマツ	14 (13~15)	0				12 (12~13)	0	12 (10~14)	1	13 (10~15)
				30以上	10.00	並	米ツガ	11 (9~12)	1	(0~0)	0	9 (9~10)	0
	28以下	4.00	並					アガチス	7 (5~9)	0	(0~0)	0	7 (6~8)
				70~90	8~14	並	米マツ		(0~0)	0	(0~0)	0	31 (26~35)
北洋材	3.80	並	エゾマツ					(0~0)	0	(0~0)	0	27 (26~28)	0
				南洋材	4.00	並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~36)	0
パルプ用材	-	並	カラマツ					(0~0)	0	(0~0)	0	26 (23~28)	0
				-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
-	-	並	広葉樹					(0~0)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	1
				-	-	並	-	(0~0)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	3

十月の原木市場への入荷状況は、前月比三〇割増(前年比三割減)の二七、四四九立方メートルとなっている。販売量については、前月比三五割増(前年比三割増)の二八、六〇四立方メートルとなっている。十一月の価格については、保合が続いている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~7)	△2	8 (6~9)	0
	13~14				8 (7~8)	△1	8 (7~8)	0
	16以上				11 (10~13)	△1	11 (10~12)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。



自転車生活!

福島県森林保全課 伊牟田 良 隆

昨年四月に福島県に派遣されて、早いもので九ヶ月が過ぎました。結婚後、初めての単身赴任、さらに県外ということもあり不安を抱えていたものの、今ではずいぶん福島の生活に慣れてきました。

今回の派遣にあたり、一番悩んだのが生活必需品?でもある乗用車の持ち込みについてでした。住居地が福島市内ということもあり「県庁所在地で交通の便もいろいろ、車がなくともさほど不自由はしないだろう」という安易な考えで車を準備しなかったのですが、これが間違いでした。

生活用品の買い出しでは、自転車かこの容量に限界があるため複数回に分けての購入を余儀なくされたり、週末、趣味のゴルフ練習には雨・雪であろうが自転車練習に通うという不自由さ。おまけに、とうとう先日、自転車のタイヤが摩耗し交換する羽目になりました。(私の体重により摩耗が進行した可能性は否めません)こんな自転車生活を見かねた心優

しき森林保全課の皆さんが、ありがたいことに、自転車では行くことのできない田代山・一切経山の登山や会津若松への酒蔵めぐり&中田観音参拝旅行。さらに、生活用品調達やゴルフにまで車を出していただくなど、大変感謝しています。

今回の派遣期間では、仕事や学校の関係で妻・子供を呼ぶので観光などができませんでしたが、無事に県庁を退職(六〇歳まで、あと十五年)したあかつきに、家族と一緒に福島県を訪れ、現在携わっている防災林事業地や観光地巡りをしたいと考えている今日この頃です。(もちろん、レンタカーで)



はなしの
ひろば

立春

「福は内 鬼は外」「鬼は内 福は外」（京都・大原神社）―鬼を同社に迎え、氏子に福を送るといふ―「福は内 鬼も（は）内」―鬼を祭神としている神社―これらは、全国の豆まきのかけ声である。季節の分かれ目には邪気（鬼）が生じると考えられ、厄除けが豆まきである。その豆は「穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっている」という信仰からきている。そして撒く豆を炒っているのは、昔土間におちた豆から芽が出てくるのを避けたからといわれている。全国のかげ声と撒く豆は、どれも理にかなっている。

そして、地方によっては、外に出された鬼を一堂に集めて改心させるお寺（奈良県・蔵王堂）や、豆をぶつけられ続けた鬼をいたわってお酒をふるまう旧家が山形県にあるらしい。鬼の息の根を止めるまで闘う残酷性はなく、平和的に終わらせたという日本人の気持ちがよく現れているおもてなしだ。

いずれにしる、どのかけ声にも厄を祓う勢いと人の幸せを願う気持ちが込められている。その勢いと人を思う優しい気持ちが、一気に春を呼び込んでくるのだろう。だから、節分の次の日には、ちゃんと「立春」が待ちかまえている。

春が立つというのは、今まで存在しなかったものが忽然と姿をあらわすという意味がある。そろそろ春の命を一番に開く梅が、寒気の中、一輪一輪けな気に咲き始め、花言葉どおり「澄んだ心、高潔」な風情を感じる。梅の枝に忽然と春が姿を現わしてくる。そして、日毎に少しずつ日脚が伸びてくるのも嬉しい。（都）

表紙の写真



「木に親しむ」

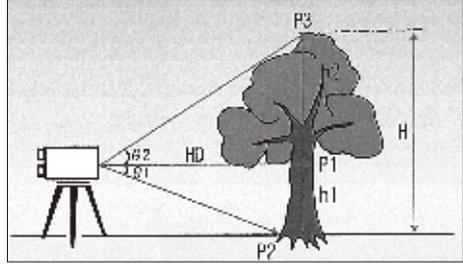
第11回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した佐藤源策さん（郡山市）の作品。

編集

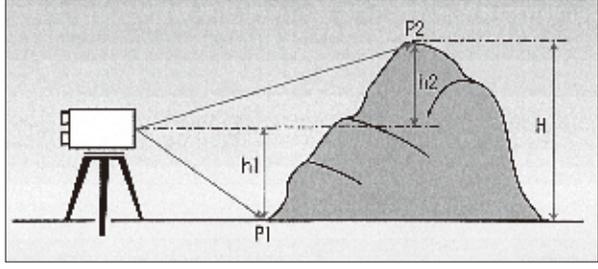
福 島 県 内 四 森 林 管 理 署
福 島 県 森 林 ・ 林 業 ・ 緑 化 協 会
福 島 県 森 林 組 合 連 合 会
福 島 県 木 材 協 同 組 合 連 合 会
福 島 県 農 林 種 苗 農 業 協 同 組 合
ふくしま緑の森づくり公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福 島 県 森 林 ・ 林 業 ・ 緑 化 協 会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
相 馬 雅 俊
発 行 人
陽 光 社 印 刷 株 式 会 社
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

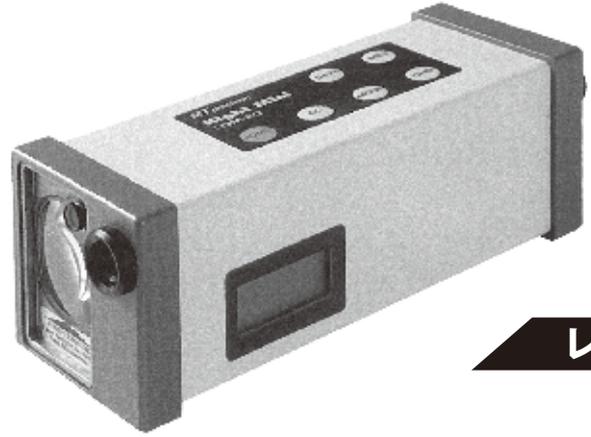


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測 距 範 囲	反射板 無30m 有300m
測 距 精 度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測 定 寸 法	高さ・水平距離・斜距離
重 量	W64・H64・D180
重 量	650g
付 属 品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

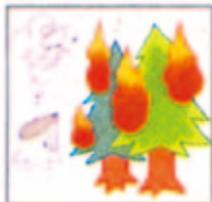
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



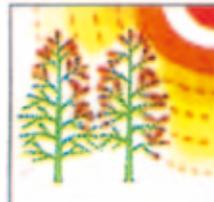
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課 Tel 024-521-7441

平成27年4月から名称が「森林保険」に変わります

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (巣退治)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



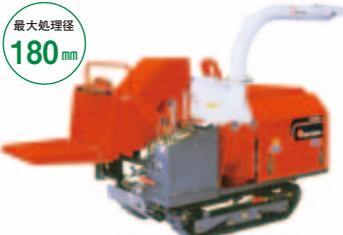
住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ

プロソー



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1